

## 教えて!ハシモト先生!!



「あれ?なんだか静か…」振り返ると、本棚の本がバサバサに散らばり、畳んだはずの洗濯物はグチャグチャ!片付けのことを思うと正直ガックリですが、これこそが一人遊びの現場です。例えば、箱入りティッシュもお子さんの手にかかれば素敵な遊び道具に早変わり!一枚一枚丁寧に引っ張りながら、次を予測して取出し口を見つめています。その真剣な眼で世界を見る姿は、私た

ち大人にとっても学びの場です。一人遊びは、子供の好奇心や集中力を養う貴重な時間。子供の成長を思えば、片付ける手間も微笑んで受け止められそうですね。

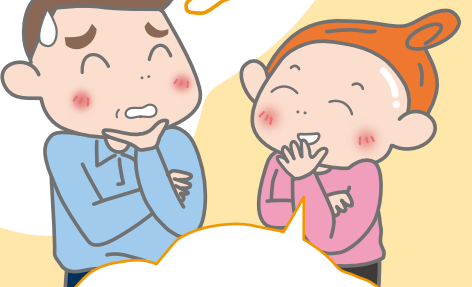
橋本 信子先生  
安田女子短期大学保育科 教授  
研究分野は、幼児教育学、保育学  
/ 幼児教育、保育等に関する著書・研究多数



# 「遊び」は「学び」



子供の一人遊び、  
どう関わっていけば  
いいのかな



だいじょうぶ、  
中を見てみて!

## おしえて!先輩パパ・ママ 身近なモノでできる手作りおもちゃ

### キャップポットン

ペットボトルのキャップを2個合わせてカラーテープでボールのようにし、穴を開けた箱に落としていく遊びです。

**memo**  
フタを複数個繋げたり、穴の形を丸や四角などバリエーションを増やして難易度を調整できます♪(Aさん)



### 牛乳パックブロック

牛乳パックを約3cmの幅で切り取り、ひとつの辺を切って、三角形にしてテープで固定。色テープやペンで飾れば「三角ブロック」の完成!

**memo**  
たくさん作って積み木のように重ねたり、ブロックを並べていろいろな形に見立てたり、子供が自ら遊び方を考えてくれます(Bさん)



### 注意POINT

おもちゃを手作りする際、誤飲には特に気を付けなければいけません。小さいパーツは飲み込んだり鼻の中に入れてしまう危険があるので、年齢に合わせた大きさを心がけましょう。ダンボールやペットボトルの切り口はテープなどでしっかりガードしましょう。

# 5 歳の力を育む関わり方

子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです!

「遊び」や「生活」は子供にとって**探究の宝庫**。遊びや生活の中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、困難を乗り越えること、人と関わることを繰り返し経験することが、**主体的に学び続けること**につながります。子供が一人遊びをしているときに、大人がつい口を出したくなることもあるかもしれませんが、しかし、一人遊びは子供自身が面白い、楽しいと思って取り組む遊びであり、自分自身の内面世界を広げるための大切な時間です。子供の一人遊びへの大人の関わり方を考えてみましょう。

乳幼児期に育みたい  
**5つの力**

感じる・  
気付く力

うごく力

考える力

やりぬく力

人と  
かかわる力



0歳6か月ごろ～

子供の「触ってみたい気持ち」を受け止める

寝返りをしたり、手を伸ばしたりできるようになると、身の回りにあるものへの興味・関心が高まり、積極的に見たり触ったりします。また、手に触れたものをなめたり、口に入れたりするようになります。子供の回りにいろいろな色や形、触感、音が出るおもちゃを用意して、その感覚を楽しんでいる様子を見守りながら「やわらかいね」「きれいな音だね」と子供の興味に合わせた言葉がけをしてあげましょう。

感じる・  
気付く力

うごく力

人と  
かかわる力

子供の発達には個人差が大きく、環境によっても異なります。子供の個性や発達のペースを大切にして、温かく見守っていきましょう。

2歳ごろ～



もしもし、  
〇〇ちゃん  
元気ですか?  
どこに行くのかな?

もしもし?

大人みたいにやってみたい!  
まねっこを肯定してイメージを広げる

身の回りのものを何かに見立て、イメージを膨らませて遊んだり、大人の真似をしたりするようになります。例えば、葉っぱを食器に見立てたり、テレビのリモコンをスマートフォンに見立てて電話をしてみたり…。大人は、子供の見立て遊びを肯定的に受け止めて、イメージを広げる言葉がけを心がけながら、子供とのやりとりを楽しみましょう。

感じる・  
気付く力

考える力

人と  
かかわる力

0歳7か月～1歳6か月ごろ

一人で楽しんでいるときは  
温かく見守る

子供の視野や行動範囲がどんどん広がる時期。一人遊びは探究心の芽生えで、子供はいろいろなことに興味をもちながら「これはなんだろう」「どうしてだろう」と考えます。大人はその様子を温かく見守り、時折子供の言葉にならない思いを受け止めて、「(積み木を)高く積めたね」や「楽しいね」など子供の遊ぶ様子や感情を言葉にしてみると良いでしょう。

感じる・  
気付く力

うごく力

考える力

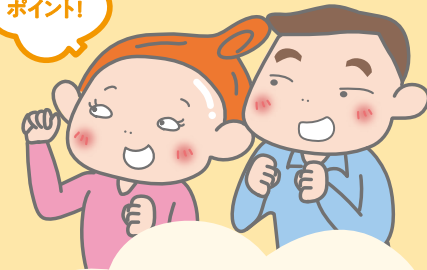
やりぬく力

人と  
かかわる力



高く積めたね!

ここが  
ポイント!



子供は親が見守ってくれるという安心感を土台に一人遊びを楽しみます。子供がやろうとしていることが思うようにできないときに「お手伝いしようか」と声をかけると子供は「困ったときはちゃんと助けてくれる」と安心して夢中で遊ぶことができます。